

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間：2023年12月  
結果公表日：2024年3月29日

## 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%  
保護者様： 18名回答、回答率 72%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・状況に応じたスペースの確保ができています
- ・玄関前にスロープがあり、入口や訓練室にも目立った段差はない
- ・職員配置については、法令上の人員基準を満たしているが、送迎対応や日によって配置人数に偏りがあるため、法人内の近隣他事業所と連携を取り人員や送迎等の工夫をおこなっている

### ○業務改善

- ・業務前ミーティングにて利用者の情報などを共有し、意見交換している
- ・ミーティングは難しい時や職員が教室不在時の利用者の様子などについては、個別にてその都度共有している
- ・業務後ミーティングについては、送迎の関係や職員の勤務時間の関係で実施できていないものの、各職員の対応振り返りは、個別にて行っている
- ・全社的には階層別研修などを実施している

### ○適切な支援の提供

- ・保護者からの要望について、「できる/できない」を確実に伝え、必要に応じて出来る範囲内で改善に繋げる努力をしている
- ・保護者からの要望や個別課題を通して課題がでてきた時には、その部分にアプローチできるような活動を取り入れている
- ・利用者の課題に応じて個別課題を設定・実施している
- ・定期的に利用者のアセスメントについて共有する時間を取っている
- ・共通のアセスメントツールはあるが不十分な部分もあり、教室として各利用者の様子や課題をまとめるツールを作成している

### ○関係機関や保護者との連携

- ・利用者の状況・保護者からの要望もあり、学校とは情報交換を行うなど、連携できている
- ・担当者会議実施時には、基本的には児童発達支援管理責任者や、利用者の状況や内容に応じて該当利用者に関わりが長い職員が出席するなど臨機応変に対応している
- ・ジュニア教室(中高生向け)という特性上、法人内で小学生時代の引継ぎはできているが、就学前の関係機関とは連携できていない

### ○保護者への説明責任等

- ・基本的には送迎時に対応、必要に応じて電話連絡をして、確実な情報を伝えるよう努めている
- ・契約時に必要事項について説明をしている
- ・苦情については相談窓口(教室、会社、自治体)について、契約時の説明(書面・口頭)や訓練室内に掲示している

### ○非常時等の対応

- ・プログラムとして、毎月の活動で避難訓練を実施している
- ・緊急時対応として、避難訓練以外にも様々な場面を想定した活動に取り組んでいる。
- ・身体拘束実施時には記録作成、保護者対応を確実に実施している
- ・アレルギーについて一覧表をもとに対応している

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

- ・中高生だと色々な事情もでてくるので、職員数は少ないとの意見をいただいた

### ○適切な支援の提供

- ・通い始めたばかりなので分からないとの意見をいただいた
- ・「活動プログラム」や「支援の内容」について、9割以上の保護者様から良い評価をいただいた

### ○保護者への説明等

- ・コロナ禍以降保護者会は開催されていない
- ・保護者様との情報伝達や支援については、おおむね良いとの評価をいただいた

### ○非常時等の対応

- ・非常時の対応について、「未回答」や「わからない」という回答が多かったため、周知方法については再度検討をしていく

### ○満足度

- ・「できないことなど、親と一緒に考えて指導してまいります。できた事も喜んで親に報告をして頂いています。親では甘えてしまうことも、違う人から言われたことはやらないといけない、そんな気持ちを持たせてくれる事は社会にでてからも大切だと、親として思っています。これからもよろしく願います。」との意見をいただいた
- ・多くの方から、子どもは通所を楽しみにしている、事業所の支援に満足しているとの評価をいただいた

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・日頃の生活の中での困りごとなどを送迎や面談の際に保護者から聞くことができるよう、日々の保護者支援を密に行なっていく
- ・支援の中での不安や不明点を職員同士で話すことができる環境・関係づくりをしていく

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・各利用者の状況に合わせた対応を実施し、必要に応じて家庭や学校と連携していくことができていた
- ・利用者の様子、保護者からの情報に対して、タイムリーに対応できるよう努めていたが、各職員が意識的に実施していくためにも、更なる改善や工夫が必要
- ・業務前ミーティングなどを通して、職員同士で支援について話す場面を設定することはできたが、どの職員も自分の意見を伝えることができるよう、更なる改善や工夫が必要

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

業務前ミーティングで、情報共有や困ったことを相談できる場を設けており、安心して支援に入ることができる

職員間の経験年数が幅広いが、フォロー体制が整っている

保護者や学校との関係性を早い段階で構築できている

毎月の活動について、各日で担当を決めているため活動内容が固定化しづらい

満足度について9割以上の方が「満足している」と回答している

### ○改善点

緊急時対応などイレギュラー時の対応について、利用者への周知方法を検討する

保護者会について、対面での保護者会だけではなく、遠隔などで気軽に参加できる手段を検討する

現状の職員数で運営していくにあたり、利用者に対して1:1で対応する時間が長くなると不足と感じてしまうことも多いため、利用者同士複数で関わられるように工夫するなど環境整備をする

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・保護者からの要望を取り入れていながら支援できるよう、職員の自己研鑽を続けていく
- ・そのために、保護者との関係性の構築をしっかりと行っていく

### ○1年間で取り組む具体策

- ・社会情勢的にも落ち着いてきているため、保護者の相談の場・保護者同士の情報共有の場として保護者会の開催について検討していく
- ・日頃の生活の中での困りごとなどを送迎時や面談の際に保護者から聞くことができるよう、日々の保護者支援を密に行っていく
- ・支援の中での不安や不明点を職員同士で話すことができる環境・関係づくりを行う
- ・そのため業務前ミーティングについて、内容のブラッシュアップや進め方を再検討し、有意義な時間になるよう工夫する